

「水辺の楽校」へ学生参加のご協力頂いた大学のご紹介

大学名	摂南大学（エコシビル部）
参加形態／人数	大学公認部活動による参加／20人～
参加日程／現場	平成25年10月他／大和川、佐保川水辺の楽校他

○大学の視点

摂南大学理工学部 講師 石田裕子

エコシビル部はもともと土木工学研究部という名前で、摂南大学創設当初からある歴史の長い大学公認のクラブです。1998年にエコシビル部に改名し、土木だけでなく、市民活動や環境活動に幅を広げてきました。本クラブは、主に淀川流域を中心として、地域の市民団体と一緒に親水活動や環境保全活動を行っています。

毎年「大和川の日」に合わせて、大和川市民ネットワークと一緒に、水辺の楽校がある大和川（大阪府堺市）で親水活動を行っています。エコシビル部は、Eボート（10人乗りの手漕ぎのゴムボート）の乗船体験を担当しています。過去には、奈良市にある佐保川水辺の楽校でもEボート乗船を行ったこともあります。これまでの部員の一部は、近畿子どもの水辺ネットワークが主催するRACのリーダー養成講座に参加し、安全管理についても学習しています。また、ここ数年は、近畿子どもの水辺交流会にスタッフとして参加しています。

これらの活動を通して、土木系の学生は河川環境や水害について、大学の座学だけではなく、フィールドで学んでいます。上級生は水辺整備の市民ワークショップに参加し、行政や市民と協働して、地域の水辺整備に関わっています。本クラブには文系の学生も多く、流域連携活動に参加することで、世代の異なる大人との接し方やマナー、コミュニケーション力、企画力等を身につけることを期待しています。地域の活動に大学生が主体的に関わっていくことで、地域の方々にも喜ばれ、地域社会に大きく貢献してくれています。最近では、市民団体の方と一緒に企画して行う活動も増え、学生の主体性がどんどん増えています。大学を卒業した後も、ここで培った力を活かして、社会に貢献できる人材になってほしいと期待しています。



月に一回、淀川新橋周辺でクリーン活動を実施。

○参加学生の感想

摂南大学工学部都市環境工学科 2年生 萩原麻樹

私はエコシビル部を通して年間40回以上ととても多くの活動に参加してきました。私たちが通っている摂南大学のすぐ近くにある淀川での活動が多くあります。その他にも大和川を始め、桂川など琵琶湖・淀川水系を中心とした様々な河川で親水活動に参加させていただいています。私たちのアピールポイントはEボートです。どの川でもたくさんの子供や大人の方がEボートに乗船してくださります。川は河川敷から見るとより、Eボートを使って川の真ん中から周りの景色を見渡す方が魅力的です。私たちはこんな魅力的な川を、Eボートを使って、もっと地域の方々に伝えていきたいです。このような考えになったのはやはり実際にフィールドに出て川で遊ぶ楽しさ、気持ちよさを学んだからこそだと思います。

このような親水活動だけではなく、エコシビル部の部員として昨年は近畿子供の水辺交流会に当日スタッフとして参加させていただきました。子供たちの発想、ひらめきは斬新で素敵でした。大変刺激を受け、私たち自身も川についてもっと意欲的に関わっていきたく成長させられました。

私自身としましては、摂南大学工学部都市環境工学科の学生で、実習や勉学に励んでいます。生態環境学という分野で外来種のことを座学で学びました。ですが座学よりも実際に活動しているときのほうが外来種の繁殖力や生命力を身体で実感します。そしてより危機感を感じます。固有種が少なくなっているのが現状としてある中で、河川整備はとても大切な仕事だと思います。エコシビル部を通して様々な河川に出向き、様々な人と交流しながら川を見てきました。河川整備をすることは固有種などの植物や動物、そして人間など全てつながっていると思います。これから先もっと川と関わっていきたくです。そして将来的にはこのエコシビル部で培った経験を活かし、川と人をつなぐ架け橋となるような人材になりたいです。



2013年10月5日 尼崎運河博覧会でのEボート乗船体験。ボート先頭が萩原。



淀川点野（しめの）砂州における外来植物駆除活動。河川レンジャーや市民団体と協力して行っています。

<http://ecocivil.wordpress.com/>



エコ部について

環境と人をつなぐ架け橋となる

エコシビルとは

- 『環境』を表す“eco”と、『市民』や『土木』を表す“civil”を組み合わせた造語です

活動場所

- 近畿圏内の河川、主に淀川流域で活動しています
- Eボートを用いた親水活動や、河川清掃、外来駆除に参加したりしています

連絡先

〒572-8508 大阪府寝屋川市池田中町 17-8 摂南大学 エコシビル部